

2018年3月8日

---

---

## 「VOCA展2018」への特別協賛および 「ALL VOCA賞」の展示について

---

---

第一生命保険株式会社(社長:稲垣 精二)では、2018年3月15日(木)より開催される『VOCA(ヴォーカ)展2018 現代美術の展望—新しい平面の作家たち』(主催:「VOCA展」実行委員会/公益財団法人日本美術協会 上野の森美術館)に特別協賛します。

本展覧会は、将来性のある40歳以下の若手作家を対象に、平面美術の領域で国際的に通用する作家の育成・支援を目的として1994年より毎年開催している美術展です。これまでに、福田美蘭(1994年VOCA賞)、やなぎみわ(1999年VOCA賞)、蜷川実花(2006年大原美術館賞)、清川あさみ(2010年佳作賞)など多方面で活躍している作家らが受賞しており、近年では若手作家の登竜門として高く評価されています。

第25回となる今回の展覧会では新進気鋭の作家34名が出品し、VOCA賞(1作品)、VOCA奨励賞(2作品)、佳作賞(2作品)、大原美術館賞(1作品)が決まりました。展覧会、受賞および出品作品の詳細については別紙をご参照ください。

当社は社会貢献活動の一環として、「VOCA展」を主催者とともに立ち上げ1994年の第1回より支援を継続しています。VOCA賞・VOCA奨励賞作品を収蔵し、日比谷本社1階のロビー・第一生命ギャラリーで公開、さらに同ギャラリーで受賞作家の個展を開催するなど、展覧会後の活動を後押しすることで若き芸術家を支援しています。

2018年3月1日より、VOCA展25周年を記念し「ALL VOCA賞」と題して当社が所蔵する歴代のVOCA賞作品(大賞)を日比谷本社で一挙に展示しています。VOCA展の歴史を是非ご体感ください。

以上

## 「VOCA展 2018」概要

- ◆名称 「VOCA展 2018 現代美術の展望—新しい平面の作家たち」
- ◆主催 「VOCA展」実行委員会、公益財団法人日本美術協会 上野の森美術館
- ◆特別協賛 第一生命保険株式会社
- ◆会場 上野の森美術館(東京都台東区上野公園1-2) <http://www.ueno-mori.org/>
- ◆会期 2018年3月15日(木)～3月30日(金)[16日間/会期中無休]
- ◆開館時間 10:00～18:00 ※入場は閉館30分前まで
- ◆入場料 一般600(500)円、大学生500円、高校生以下無料 ※( )は前売料金
- ◆チケット チケットぴあ(Pコード:768-809)、ローソンチケット(Lコード:33394)、e+(イープラス)ほか主要プレイガイド  
および、コンビニエンスストア店頭
- ◆推薦委員 「VOCA展」実行委員会から選出された全国の美術館学芸員、研究者、ジャーナリストなどに、作家1名の推薦を依頼
- ◆出品作家 ・推薦委員の推薦に基づき、「VOCA展」実行委員会より依頼した作家、国籍不問  
・1977年4月1日以降生まれ(40歳以下) ※同展會期中(2018年3月)に40歳以下であること  
・過去24回開催した「VOCA展」の出品作家(受賞者含む)も可
- ◆出品作品 ・平面作品  
・抽象、具象、素材は問わない  
・出品時からさかのぼって1年以内に制作された、未発表の作品  
・作品サイズは、250cm×400cm以内の壁面(タテ形、ヨコ形は不問)に展示できるもの  
・作品単体のサイズ(輸送時)は、250cm×200cm以内とし、複数の作品、パネル等のジョイントにより250cm×400cm以内の壁面に展示できるものとする  
・作品の厚さは、20cm以内  
・作品の重量は、総重量80kg以内、個々で40kg以内  
・展覧会場で制作および長時間の展示作業を必要としない完成作品
- ◆選考委員 島 敦彦 (選考委員長/金沢21世紀美術館館長)  
光田 由里 (DIC川村記念美術館学芸課長)  
柳沢 秀行 (大原美術館学芸課長)  
小勝 禮子 (美術史・美術批評)  
水沢 勉 (神奈川県立近代美術館館長)
- ◆賞 VOCA賞 1名 正賞および副賞(300万円)  
VOCA奨励賞 2名 正賞および副賞(100万円)  
佳作賞 2名 正賞  
※上記3賞は、選考委員が選考します  
※選考により、「該当者なし」のこともあります  
※VOCA賞、VOCA奨励賞は、第一生命保険株式会社の収蔵作品となります  
大原美術館賞 1名 正賞および副賞  
※大原美術館賞は、館の代表者がVOCA賞、VOCA奨励賞以外から選定し、作者の了解のもと、同館の収蔵作品となります  
※上記4賞(最大6名)の入賞者には、第一生命ギャラリーでの個展の機会が与えられます

■第一生命保険株式会社は、VOCA展の運営サポートを行うほか、受賞作品を買い上げ、本社1階にあるロビーや、本社に開設しているギャラリーで作品の定期的な公開を行っています。また、受賞者による同ギャラリーでの個展も随時開催しています。

## 「VOCA展 2018」受賞作品

## 【VOCA賞】



碓井 ゆい(うすい ゆい)

「our crazy red dots」

糸、布

[135cm × 205cm]

## 【VOCA奨励賞】



藤井 俊治(ふじい としはる)

「快楽の薄膜」

油彩・アクリル・水彩・アルミ箔・雲母・ジェツソ、綿布

[240cm × 390cm]

## 【VOCA奨励賞】



山田 七菜子(やまだ ななこ)

「磯」

油彩、カンヴァス

[162cm × 390cm]

## 【大原美術館賞】



浦川 大志(うらかわ たいし)

「風景と幽霊」

アクリル・ジェツソ、綿布・パネル

[400cm × 225cm]

## 【佳作賞】



梅沢 和木(うめざわ かずき)

「すべてを死るのも」

アクリル・画像・ラメ・ペン他、パネル

[232cm × 372cm]

## 【佳作賞】



森本 愛子(もりもと あいこ)

「唐草文様」

天然顔料・天然染料・膠・金箔・銀箔、絹

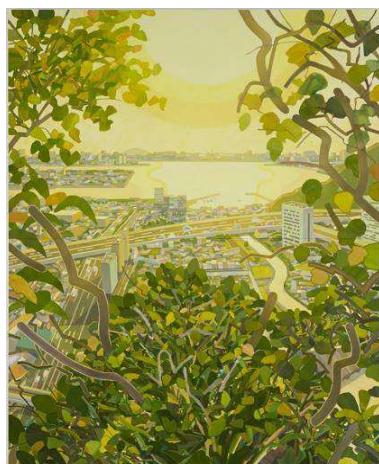
[147.6cm × 180cm]

## 「VOCA展2018」出品作品一覧（作家34名／50音順）

作家名	生年	現住所	作品タイトル	素材
會田 千夏	1980	北海道札幌市	the fissure. 2017.11	コンテ・顔料・木綿他、パネル
芦田 なつみ	1993	広島県広島市	このきもちには名前がある	コマーシャルカラー・はとめ、塩化ビニール
阿部 大介/鷹野 健	1977/ 1980	神奈川県相模原市	木の箱だったこと、大量にあること、瀬戸物をいれて運搬していたこと、アーティストのアトリエとなってからは邪魔になったこと、積み上げられて壁面として使われていること	樹脂系エマルジョン、油性インク他
石井 麻希	1982	ドイツ・ベルリン	Ay Waukin, O	木・映像・モニター・布、アクリル板
碓井 ゆい	1980	埼玉県春日部市	our crazy red dots	糸、布
梅沢 和木	1985	東京都三鷹市	すべてを死のるのも	アクリル・画像・ラメ・ペン他、パネル
浦川 大志	1994	福岡県宗像市	風景と幽霊	アクリル・ジェッツ、綿布・パネル
EKKO	1982	埼玉県戸田市	1. Jump cut 2. かつて 3. ステビア	アクリル・油彩・鉛筆・色鉛筆・和紙、カンヴァス ※2,3は油彩なし、3のみビニール使用
小穴 琴恵	1990	埼玉県所沢市	1. 無題(室内の風景) 2. 無題	1. 油彩、カンヴァス 2. インク、紙
表 恒匡	1981	京都府京都市	上野の森美術館展示室 4、展示室 7	アクリル、写真・額
川田 知志	1987	大阪府寝屋川市	むこうの壁	1. 布・漆喰・顔料・膠・合成樹脂塗料、木材 2. 漆喰・顔料、木材 3. 漆喰・顔料・合成樹脂塗料、木材他
小泉 圭理	1985	東京都練馬区	右: え付け 左: え付け	油彩・膠・ニス・釘、綿布・木
越 ちひろ	1980	長野県千曲市	run after a shadow	油彩、カンヴァス
坂内 直美	1990	神奈川県相模原市	故郷 - 25	油彩、カンヴァス
白井 ゆみ枝	1977	長野県上田市	右: うしろにとおく 左: そこなみ	油彩、綿布・鉄枠
平良 優季	1989	沖縄県島尻郡	nocturne	岩絵具・寒冷紗・箔、麻紙
高田 安規子・政子	1978	東京都世田谷区	ジグソーパズル	古封筒
田幡 浩一	1979	ドイツ・ベルリン	one way or another (white asparagus)	油彩、パネル
中山 恵美子	1988	東京都武蔵野市	1. 足跡 2. 資料(a~i)	墨・アクリル・色鉛筆、和紙
野村 康生	1979	岡山県倉敷市	Dimensionism - 両界 -	シリコーン・偏光塗料・パール顔料・マーカー、パネル
BABU	1983	福岡県北九州市	LOVERS COVER	クローム(銀)・クリアー(透明保護剤)、カンヴァス
林 葵衣	1988	京都府京都市	Perspective of voice / 声の遠近法	アクリル樹脂系エマルジョンペイント・口紅、パネル
彦坂 敏昭	1983	京都府京都市	Chadha Kulvinder Sigh   2016   NYK ORPHEUS	アクリル・色鉛筆・鉛筆・ペン・インクジェットプリント、カンヴァス
百頭 たけし	1980	栃木県佐野市	無題	クリップ・ゴム・インクジェットプリント、合板
藤井 俊治	1983	滋賀県大津市	快樂の薄膜	油彩・アクリル・水彩・アルミ箔・雲母・ジェッツ、綿布
前川 祐一郎	1981	愛知県名古屋	1. column 2. unstable 3. elsewhere	油彩、カンヴァス
増子 博子	1982	岩手県一関市	異果て	製図用ペン・製図用インク、紙・パネル
水江 未来	1981	埼玉県所沢市	progress of humankind	フェルトペン、画用紙
森下 明音	1988	大分県豊後大野市	黄色い夜の音	色鉛筆、紙
森本 愛子	1988	神奈川県川崎市	唐草文様	天然顔料・天然染料・膠・金箔・銀箔、絹
門馬 美喜	1981	神奈川県川崎市	無題	墨、和紙・パネル
山田 七菜子	1978	大阪府堺市	磯	油彩、カンヴァス
吉田 志穂	1992	東京都杉並区	砂の上の鯨／波のあと	ラムダプリント・ゼラチンシルバープリント、額
ワタナベ メイ	1989	新潟県新潟市	アイコン	アクリル・水彩・色鉛筆・パテ、パネル

VOCA展25周年企画

ALL VOCA賞



2017年 幸田 千依  
「二つの眼を主語にして」



2013年 鈴木 紗也香  
「あの日の眠りは  
確かに熱を帯びていた」



2002年 曾谷 朝絵  
「Bathtub」



1999年 やなぎ みわ  
「案内嬢の部屋 B4」

ヴォーカ  
VOCA展は

2018年に25周年を迎えました！

四半世紀つづく当展は、今では若い美術家の登竜門となり

権威ある賞として高い評価をいただいています。

特別協賛会社である第一生命は25回を記念し、

当社が所蔵する歴代のVOCA賞作品（大賞）を

日比谷本社で展示します。

VOCA展の歴史を是非体感ください。

会 期：2018年3月1日（木）～4月27日（金）

※ご好評につき延長します！！

開館時間：8:00～20:00（ロビー）

12:00～17:00（ギャラリー）

※入場無料/土・日・祝日休

場 所：東京都千代田区有楽町1-13-1

DNタワー21 第一生命本社1階



J R有楽町駅より徒歩2分/  
東京メトロ日比谷線、千代田線、都営地下鉄三田線日比谷駅  
より徒歩1分/東京メトロ有楽町線有楽町駅より徒歩1分

\*地下鉄出口はB1、B2

## 展示作品一覧

受賞年	作家	作品名	受賞年	作家	作品名
1994*	世良 京子	BACK OF BLACK No.19,No.20	2007*	山本 太郎	白梅点字ブロック図屏風
1995	三輪 美津子	道 emotional rescue 風景としての風景画	2008*	横内 賢太郎	Book-CHRI IMOCE Book-CHRI FFTC
1996	東島 毅	BB_007 BB_008	2009*	三瀬 夏之介	J
1997	小池 隆英	undercurrent	2010	三宅 砂織	内緒話 ベッド
1998	湯川 雅紀	無題	2011	中山 玲佳	或る惑星
1999*	やなぎ みわ	案内嬢の部屋 B 4	2012	鈴木 星亜	絵が見る世界 11_03
2000	岩尾 恵都子	Oslo Cuzco	2013	鈴木 紗也香	あの日の眠りは確かに熱を 帯びていた
2001	押江 千衣子	ゆたか	2014*	田中 望	ものおくり
2002	曾谷 朝絵	Bathtub	2015	小野 耕石	Hundred Layers of Colors
2004	前田 朋子	it overlooks	2016*	久門 剛史	crossfades #3
2005*	日野 之彦	あおむけ 口に両手	2017	幸田 千依	二つの眼を主語にして
2006	小西 真奈	キンカザン 1 キンカザン 2			

\*印：第一生命ギャラリーに展示。その他の作品はロビーに展示します。(場所を変更する場合があります)

※2003津上みゆき作品は上野の森美術館(3/15-30)、1994福田美蘭作品は大原美術館(岡山県)(3/1-31)で展示します。



2011年 中山 玲佳 「或る惑星」

## VOCA展2018 3.15-30上野の森美術館で開催！

絵画や写真など平面美術の領域で、国際的に通用し将来性のある40歳以下の若手作家の育成・支援を目的に、毎年開催されている展覧会です。過去の受賞者に、やなぎみわ(VOCA賞)、清川あさみ(佳作賞)、蜷川実花(大原美術館賞)らがいます。

2018年3月 DSR推進室

**25**  
25th VOCA